経済連携協定(EPA)とは?

経済連携協定(EPA)とは?

経済連携協定 EPA • Economic Partnership Agreement 自由貿易協定 FTA • Free Trade Agreement

FTA

特定の国や地域の間で、 物品の関税やサービス貿易の 障壁等を削減・撤廃する協定

> 物品の関税を 削減・撤廃

サービス貿易の 障壁等を削減撤廃

EPA

FTAを柱に、ヒト、モノ、カネの移動の自由化、円滑化を図り、幅広い経済関係の強化を図る協定

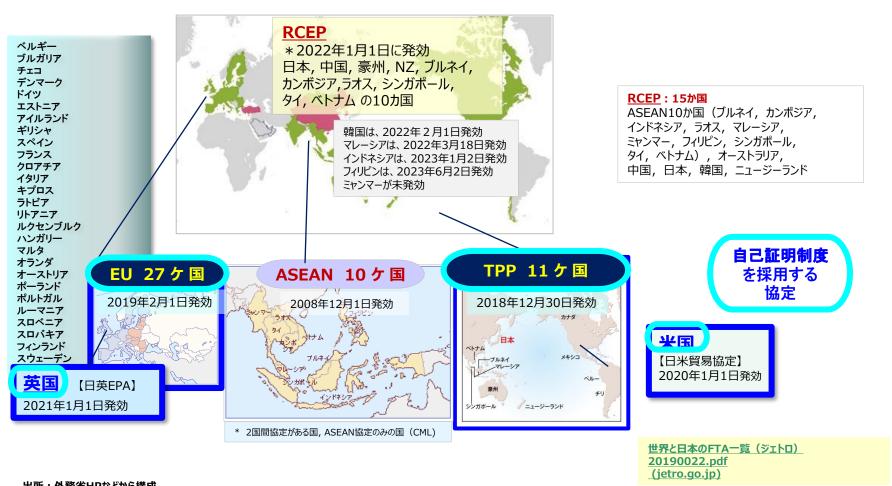
投資規制撤廃

人的交流の拡大

各分野の協力

知的財産制度 競争政策の調和

主な経済連携協定等の発効状況



出所:外務省HPなどから構成

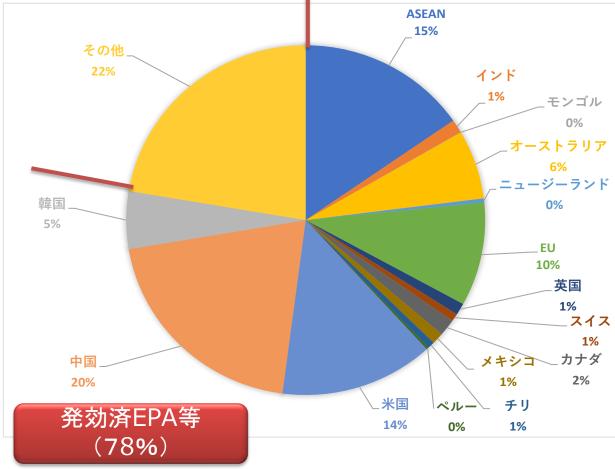
我が国の経済連携協定(EPA/FTA)等の取組 | 外務省 (mofg.go.jp)

日本のEPA等 貿易カバー率

EPA等	発効年•月
シンガポール	2002.11
メキシコ	2005.04
マレーシア	2006.07
チリ	2007.09
タイ	2007.11
インドネシア	2008.07
ブルネイ	2008.07
ASEAN	2008.12
フィリピン	2008.12
スイス	2009.09
ベトナム	2009.10
インド	2011.08
ペルー	2012.03
オーストラリア	2015.01
モンゴル	2016.06
CPTPP(カナダ /NZ)	2018.12
EU	2019.02
日米	2020.01
日英	2021.01
RCEP(中国/韓 国)	2022.01

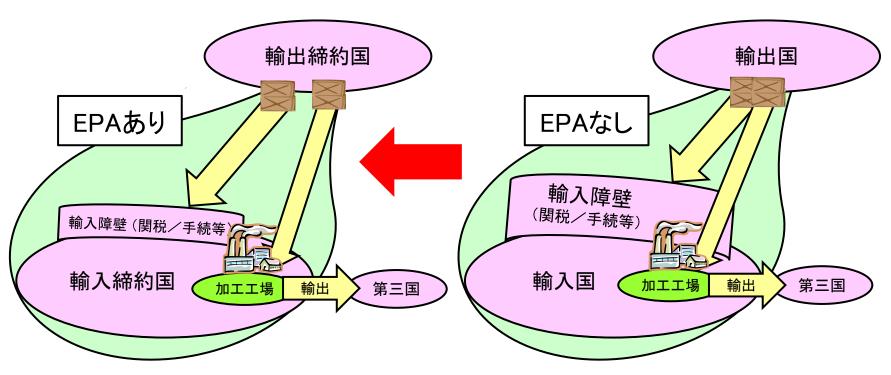
【日本の貿易相手国構成比】

貿易総額:216兆円 *2022年の日本の貿易総額 (輸出+輸入) を基に作成



EPA等相手国との貿易が貿易総額に占める割合は78%

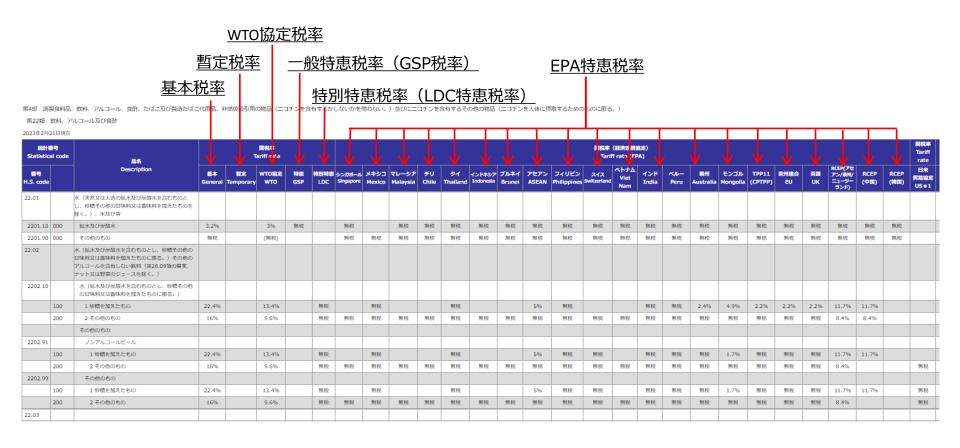
物品貿易の自由化とは?



- ★ 関税の削減・撤廃は物品貿易の自由化の一つ!
- ★ EPA税率は締約輸入国・地域市場向けの税率(関税の一つ)!
 - ⇒ASEAN諸国の場合、輸出製品製造用輸入原材料の関税はEPA税率を利用しなくても投資・輸出奨励制度や国内法により無税になる場合が多い。投資・輸出奨励の恩典や保税工場/倉庫の利用、原材料輸入時申告し製品輸出証明書を提出して原材料輸入関税還付を受ける場合などがある。(例えば、タイ: 税の還付制度(Section 19 bis of Customs Act (No.9) B.E.2482(通称BIS 第19条2項)、投資奨励法、工業団地公社法等、マレーシア: 各種投資関連法(投資促進法、工業調整法、関税法、関税令、自由地域法等))

関税率表の見方

日本税関 輸入統計品目表(実行関税率表) ※2023年4月1日版 https://www.customs.go.jp/tariff/index.htm



出所:税関ウェブサイト

関税の種類(日本の場合)

基本税率	協定や別途法律で定めのない限り適用する原則的な税率。現在、東ティモール、北朝鮮、赤道ギニア、レバ ノンなど数カ国に適用。
WTO協定税率	WTO全加盟国・地域および二国間条約で <u>最恵国待遇</u> を約束している国からの産品に対しそれ以上の関税を課さないことを約束(譲許)している税率(協定外の国・地域であっても、相互主義に則り、その国・地域との外交関係も考慮し、協定税率が適用される)。
一般特恵税率 (GSP税率)	開発途上国で、特恵関税の供与を希望する国のうち、わが国が当該供与を適当と認めた国(特恵受益国)を原産地とする輸入貨物に対して適用される税率。開発途上国の輸出、所得の増大、工業化と経済発展の促進を図るため、開発途上国から輸入される一定の農水産品、鉱工業産品に対し、一般の関税率よりも低い税率(特恵税率)を適用する制度(GSP: Generalized System of Preferences)。特恵原産地証明書(Form A)が必要。
特別特恵税率 (LDC税率)	特恵受益国のうち、後発開発途上国(LDC)を原産地とする輸入貨物に対して適用される税率であり、税率は全て無税。また、LDCを原産地とする一般特恵対象品目を輸入する場合も、LDC特恵税率が適用され、無税となる。LDC特恵税率の適用には、原則として、特恵原産地証明書(Form A)の提出が必要。関税暫定措置法で定められている。
協定特恵税率 (EPA特恵税率)	JETRO > EPA/FTA、WTOポータルサイト > 日本が締結しているEPA等 の各 <u>EPAの協定税率</u> https://www.jetro.go.jp/themetop/wto-fta/

	協定	非協定	
特惠	EPA特恵税率	一般特恵(GSP)税率 特別特恵(LDC)税率	
非特恵	WTO協定税率	基本税率	

出所:税関「関税のしくみ」、外務省「特恵関税制度」から一部抜粋

日本のMFN税率

WTO加盟国、便益関税受益国及び二国間協定により最恵国待遇(MFN)を認めている国を原産地とする輸入貨物に適用する最恵国待遇税率(MFN税率)は以下の通り決定される。

	協定税率が 設定されて いる品目	暫定税率が設定されてい る品目	暫定税率>協定税率である品目	↑	協定税率を 適用
			暫定税率≦協定税率である品目	1	暫定税率を 適用
		暫定税率が設定されてい ない品目	基本税率>協定税率である品目	1	協定税率を 適用
			基本税率≦協定税率である品目	1	基本税率を 適用
	設定されて	暫定税率が設定されている品目		↑	暫定税率を 適用
		暫定税率が設定されていない品目		⇒	基本税率を 適用

MFN: Most Favored Nation (最惠国待遇)

出典:税関ウェブサイト「税率決定までの流れ」より一部抜粋

10